

第 43 期第 4 回理事会議事録

日 時：2024 年 10 月 2 日（水）13 時 00 分～14 時 45 分

会 場：日本気象学会事務室（Web 会議方式）

出席理事：青柳曉典, 阿部彩子, 稲津将, 猪上華子, 今田由紀子, 江口菜穂, 榎本剛, 佐藤正樹, 笹川悠, 杉本志織, 竹見哲也, 竹村俊彦, 立花義裕, 中村尚, 原田やよい, 早坂忠裕, 堀之内武, 三好建正, 渡部雅浩以上 19 名（理事総数 20 名）

欠席理事：荒川知子 以上 1 名

出席監事：吉田聡, 川瀬宏明 以上 2 名

その他の出席者：勝山税, 福本昌史, 萬納寺信崇（事務局）

議 題

1. 協議事項

1) 会員の新規加入について

新入会員 30, 退会 86 を全会一致で承認した。2024 年 9 月 29 日現在, 会員数 3, 389 名で個人会員は 3, 197 名。

2) 第 43 期第 3 回理事会議事録の確認

議事録案について, 全会一致で承認した。

2. 報告事項

1) WG からの報告

① 大会実施形態の移行に関する WG・・・以下の内容が報告・議論された。

- ・ 第 3 回理事会議事録に記載のとおり, 2027 年度から春季大会は JpGU 大会での共催セッションとしての開催に移行, 秋季大会のみ気象学会単独開催。こうした際に表彰や受賞記念といった行事をいつどのように実施するか, 1 件の口頭発表時間を 15 分確保した場合に口頭発表からポスター発表に振り返る必要が生じるがどうするか, 検討中。今後, 10 月 21 日に WG 開催して議論し, 12 月の理事会へ提案をする予定。

2) 業務執行理事の報告

① 「庶務」庶務報告(第 4 回)・・・以下の内容が報告された

- ・ 掲載許可（2 件）

1) 申請者：中北 英一

【転載元】Orikasa, N., and M. Murakami, 1997: A new version of hydrometeor videosonde for cirrus cloud observations. J. Meteor. Soc. Japan, 75, 1033-1039.

転載する図：Figure 2

【転載先】中北英一・坪木和久・大石哲・中川勝広・鈴木賢士・大東忠保・

山口弘誠：気象研究ノート「豪雨のメカニズム解明と早期探知・予測ーリモートセンシング・雲内粒子直接観測・数値モデルの融合ー」日本気象学会（出版予定：2025年3月）

2) 申請者：株式会社日本入試センター

【転載元】：日本気象学会編「気象科学事典」（1998年10月2日）掲載表：466P 藤田スケール

【転載先】理科6年 冬季講習入試実戦演習 01MU（小学6年生対象, B4版, 5000部発行予定, 2024年12月発行予定）

※小学生対象の学習塾「サピックス小学部」で配布・使用する塾内教材

・ 後援名義等使用依頼受付（後援：0件, 協賛：3件）

1) 名称：第62回アイソトープ・放射線研究発表会

主催：公益社団法人日本アイソトープ協会

期日：2025年7月

会場：日本科学未来館（東京都江東区）

名義：協賛

2) 名称：日本太陽エネルギー学会太陽光発電部会 第38回セミナー「気候予測・再解析データ」

主催：一般社団法人日本太陽エネルギー学会太陽光発電部会

期日：2024年11月8日

会場：オンライン開催（Zoom会議室）

名義：協賛

3) 名称：日本太陽エネルギー学会太陽光発電部会 第39回セミナー「積雪PV」

主催：一般社団法人日本太陽エネルギー学会太陽光発電部会

期日：2024年12月6日

会場：オンライン開催（Zoom会議室）

名義：協賛

・ 寄附者リスト（2024.8.9～2024.10.1）

1) 一般寄附金

北大お天気愛好会, 以上1名 39,000円

2) 特定寄附金「気象夏の学校開催支援寄附金」

匿名希望, 以上1名 25,000円

② 会計担当執行理事・・・以下の内容が報告された

・ 2024年8月分の現預金検査. 特に投稿料の二重払いに対する返金があることについて議論があり, リマインド時に当初案内時に参加登録をしていないか一文でも添えることで二重払いのリスク軽減になる等の対策を検討した.

・ 流動資金(運転資金)の月ごとの推移

- ③ 2024年度「藤原賞」,「堀内賞」,「山本賞」,「小倉奨励賞」の受賞者決定投票結果
 - ・ 8月の理事会電子投票にて,全会一致で推薦どおり受賞者が決定したと報告.
- ④ 夏期特別セミナー実施報告
 - ・ 8月31日(土)~9月2日(月)実施,台風の影響で開催形態が現地からオンラインに変更となった.
- ⑤ 特定寄附金「気象夏の学校開催支援寄附金」の結果
 - ・ 4月1日~9月30日の募集期間中に合計396,000円の寄付がされた.今後,学会ホームページ,「天気」にて報告する.
 - ・ 開催形態が急遽オンラインとなったため,寄附金の一部を利用施設等のキャンセル代等に充当した.
- ⑥ 2025年春季大会概要
 - ・ 日程は5月14日(水)~5月17日(土)で例年より1週間早まり受賞等も早めの準備が必要.また,シンポジウム,現地ポスター発表,受賞式,受賞記念講演の会場は慶應義塾大学が提供.

3) 委員会報告

- ① 「講演企画」・・・以下の内容が報告された.
 - ・ 2024年度秋季大会に向けた準備状況(参加・講演申込数,発表形式等)
 - ・ 2025年春季大会に向けた準備状況(テーマ募集,今後のスケジュール)
 - ・ JpGU2025について学協会プログラム委員の選出,学協会セッション募集開始
 - ・ 2025年度秋季大会の期間,会場
- ② 「天気編集」・・・以下の内容が報告された.
 - ・ 2024年9,10月の掲載記事と,11月の予定記事.
- ③ 「気象集誌編集」・・・以下の内容が報告された.
 - ・ Vol.102, No.5(2024年10月)の掲載論文と, Vol.102 No.6(2024年12月)の掲載予定論文.審査中の論文リスト.
- ④ 「SOLA編集」・・・以下の内容が報告された.
 - ・ 論文投稿・公開状況
 - ・ 特別号企画
 - ✓ 「豪雨をもたらす停滞性降水系—線状降水帯—研究の新展開」(Vol.20A)
 - ✓ 「高性能スーパーコンピュータを用いた大気科学の最前線」(Vol.20B)
 - ・ 2024年8~9月の掲載論文:10編
- ⑤ 「気象研究ノート編集」・・・以下の内容が報告された.
 - ・ 今年は残り3~4巻を予定.
- ⑥ 表彰関連・・・以下の内容が報告された.
 - ・ 「正野賞」昨日推薦を締め切ったところ.候補者選定を予定.
 - ・ 「松野賞」は秋季大会に向けて準備・調整を進めている.また,2023年春

季大会の申し込み方法変更以降に件数が急増したことを受け、口頭発表のみを表彰対象とする規程改正を検討中。口頭からポスターの振り分け考慮など問題ない対応の検討が必要。

- ・ 2024年度「第45回猿橋賞」受賞候補者, 気象学会推薦は11月1日。

⑦ 「学術」

- ・ 「気象学の現状と展望」は近々天気に掲載見込み。フォローアップをするか検討。

⑧ 「気象災害」

- ・ 「防災学術連携体」には気象学会気象災害委員長等が参加し、幹事になっている。また、能登半島は当初地震がメインだったが、豪雨災害も発生し、速報会「2024年夏(秋)の気象災害・要因と対策」の猛暑、熱中症、水害の発表でも能登半島豪雨が触れられた。気象学会ホームページに防災のページを作成し、関連情報交換、相互リンクの継続等が重要。

⑨ 「教育と普及」・・・以下の内容が報告された。

- ・ 気象サイエンスカフェ, 第2回8月25日(日)「台風のシミュレーションと温暖化」実施及び第3回10月14日(日)「金星の気象の不思議」予定, 開催場所は気象科学館・オンライン併用。
- ・ 女子中高生夏の学校, 8月10日(土)～12日(月)実施。業務執行理事報告も参照。
- ・ 公開気象講演会, 11月17日(土), 「気象を通じて社会に貢献する」, 中高生・大学生を対象にオンライン開催
- ・ 気象学会のジュニアセッション, 2025年度春季大会はオンライン参加者に認定証を発行, 希望者は追加でポスターセッション。2027年度以降は基本的にJpGUに参加, 中学生の参加を認めてもらう方向で交渉を予定。
- ・ 先生のための気象教育セミナー, 2025年1月12日(日)みなと科学館で実施, テーマや講師は検討中。

⑩ 「国際学術交流」・・・以下の内容が報告された。

- ・ 11月の秋期大会における第4回小倉特別講義は概ね準備完了, その翌週の第4回日中韓気象学会(ACM)実施に向けて準備進めている。
- ・ 在外研究者の新たなネットワーク活動 Japan Network for Atmosphere and Climate Sciences (J-NACS, 仮称)のためのホームページを10月中に開始, 若手の参加等をしてもらう予定。

⑪ 「人材育成男女共同参画」・・・以下の内容が報告された。

- ・ 前回理事会で承認された委員会補助金の使用報告(2023年春のJpGU高校生イベント実施, 女子中高生夏の学校2024委員1名、委員外1名の派遣とポスター印刷に伴う経費), 使用予定(気象学会秋季大会2024)
- ・ 有期から無期へ転換する前の雇止めに関するアンケートを学会メーリン

グリストにて実施した。

⑫ 「広報委員会」・・・以下の内容が報告された。

- ・ 気象学会ホームページに竹見理事長挨拶掲載。
- ・ X アカウント管理の有料プランのため、あるいはその他でも使える法人カードの導入を事務局と検討を進めた。

4) 理事長報告

なし。

5) その他

① 表彰における故人の扱いの検討・・・以下の内容が議論された。

- ・ 第2回理事会の2024年度藤原賞候補者検討を契機に、表彰における故人の扱いを改めて議論した。基本的に推薦時点、具体的には推薦をした書類の日付又は全体受付締め切りの日付に故人であれば対象外とすることが考えられる。各賞の候補者推薦委員会からの推薦により理事会での審議が終了した段階での本人確認の時点ではどうか、といった意見も出された。
- ・ 推薦対象に年齢制限がある表彰も含めて故人を対象外として対象を狭める制約を一律に課すべきかとの意見があった。これに対し、不慮の事故もあること、また、表彰は今生きている学会員を顕彰することに意義があるという観点があることから、一律のルールで良いとの意見が出た。
- ・ 受賞者を確認し、発表・公表時点で存命と確認できれば表彰対象とするというような趣旨で表現を今後検討する。また、日本気象学会細則で選考プロセスは定めていないことから、申し合わせのような細則と別文書とすることで検討を進める。

以上について、議事録を作成し、理事長および監事が記名押印する。

2024年12月17日

公益社団法人日本気象学会

理事長 竹見哲也

監事 川瀬 宏明

監事 吉田 聡